

R6	2025.03.28 公開資料 2025.07.07 加筆修正
	卒業時満足度調査（令和6年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部・大学院）



1. アンケートの実施

実施	令和7年2月上旬から3月11日
対象者	令和6年度卒業生・修了生 115 人（国際教養学部 61 人 教育学部 51 人 大学院 3 人）
回答者	98 名(回答率 85.2%)【内訳】国際教養学部+大学院 50 名（78%）教育学部 48 名（94%）
方法	下記の7つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。
質問 1-5	質問 1～5 については、下記の5段階で評価を行った 評点 5（大変満足している）、評点 4（満足している）、評点 3（どちらとも言えない）、 評点 2（満足していない）、評点 1（まったく満足していない）
質問 6	質問 6「以下はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数 88）」 1 理論的な思考力 2 コミュニケーション力 3 物事を多角的・多面的に考える視野 4 教養・知識 5 専門的な知識と技術 6 考え方の柔軟性 7 多文化・異文化理解 8 自ら課題を立てて、解決する力 9 その他
質問 7	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。

2. 集計結果

2.1 質問 1～5 の解析

回答	学部	評価点分布						全学
		1	2	3	4	5	平均値	
質問 1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	0	3	16	20	11	3.78	4.08
	教育学部	0	0	3	22	22	4.40	
質問 2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	1	3	8	12	26	4.18	4.42
	教育学部	0	1	2	9	35	4.66	
質問 3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	2	5	15	10	18	3.74	3.69
	教育学部	0	3	15	25	4	3.64	
質問 4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	5	7	15	12	11	3.34	3.93
	教育学部	0	1	5	8	33	4.55	
質問 5 大学に入学し、4年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか	国際教養学部	2	7	6	15	20	3.88	4.12
	教育学部	0	0	4	22	21	4.36	

- ・ 質問 1 は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で 4.08 の評価を示している。評価 5 大変満足していると評価 4 満足している、を合わせて、76.5%（=75/98）となっている。この値は、昨年度（2023 年度）の 72.5%よりも改善された
- ・ 質問 2 の学友関係については、全学平均で 4.42 の高い評価を示している。
- ・ 質問 3 「施設・設備」の評価は全学平均 3.69 であり、2023 年度の 3.23 に比べて高くなっている。自由記述欄に記載の様にプロジェクターへの不満が高いことが分かる。
- ・ 質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で 4.55 と、高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部の就職支援の評価は 3.34 である。
- ・ 質問 5 の「大学に入学し 4 年間学んだ結果、自分の夢を実現し、大きく成長したと思いますか」では、評価 5 と評価 4 を合わせて、79.6%（=78/98）の学生が「大きく成長したと答えている。

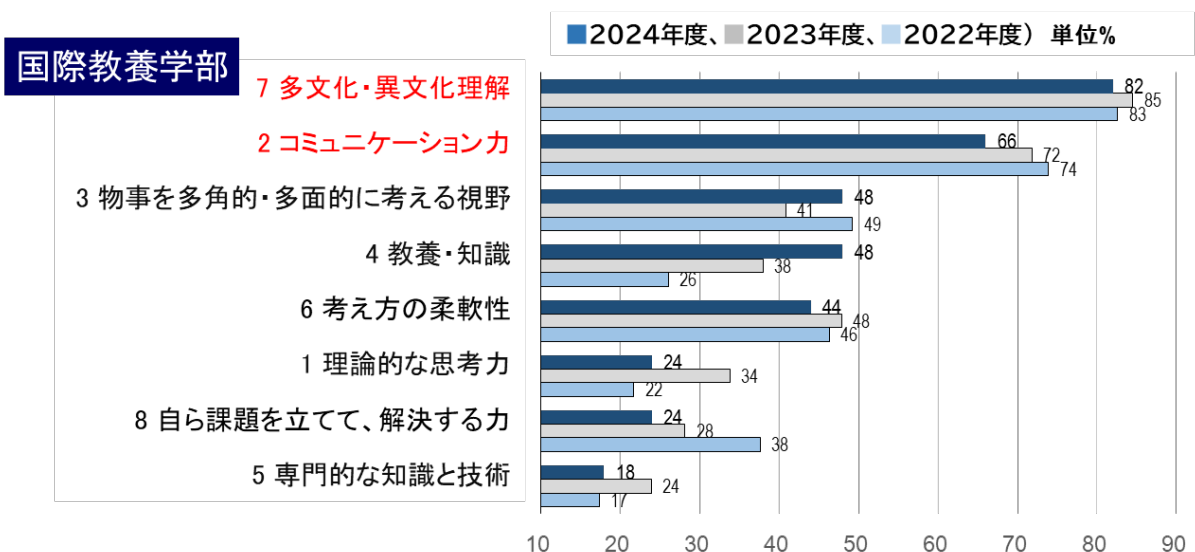
回答	年度	評価点分布（国際教養学部、教育学部、大学院）					
		1	2	3	4	5	平均値
質問 1	2022 年度	5	5	29	48	30	3.75
	2023 年度	7	5	16	42	32	3.85
	2024 年度	0	3	19	42	33	4.08
質問 2	2022 年度	1	5	15	24	72	4.38
	2023 年度	3	4	11	17	67	4.38
	2024 年度	1	4	10	21	61	4.42
質問 3	2022 年度	8	17	48	30	14	3.21
	2023 年度	3	4	11	17	67	3.23
	2024 年度	2	8	30	35	22	3.69
質問 4	2022 年度	10	14	24	29	40	3.64
	2023 年度	9	19	30	28	16	4.04
	2024 年度	5	8	20	20	44	3.93
質問 5	2023 年度	5	8	15	23	50	4.01
	2024 年度	2	7	10	37	41	4.12

2.2 質問 6 の解析

質問 6 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）

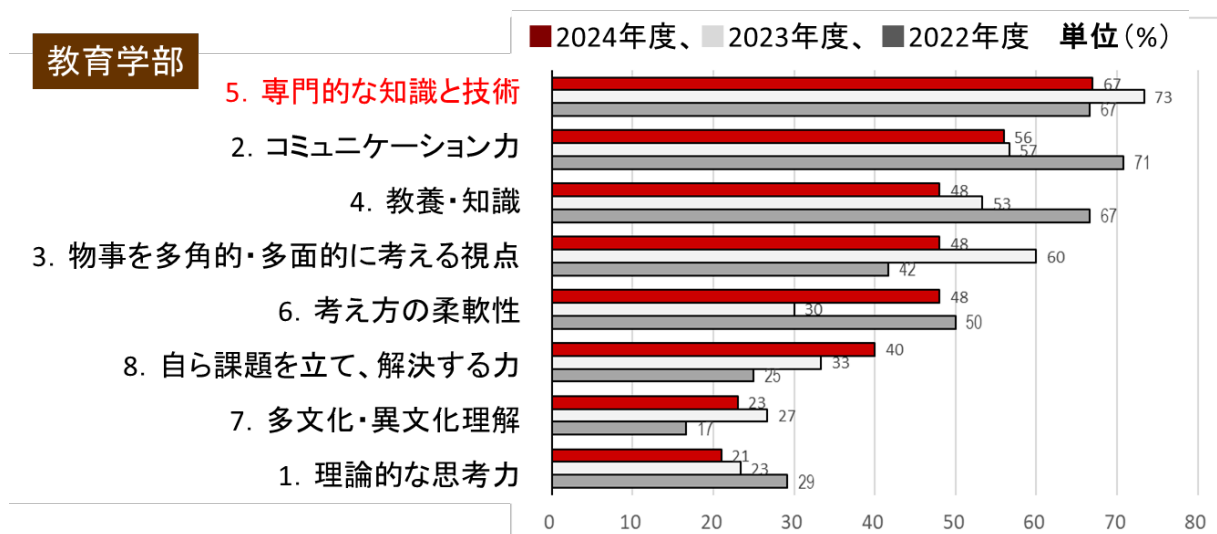
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力
4 教養・知識	9 その他
5 専門的な知識と技術	

回答	選択項目	割合（％）							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2022 年度	22	74	49	26	17	46	83	38
	2023 年度	34	72	41	38	24	48	85	28
	2024 年度	24	66	48	48	18	44	82	24
教育学部	2022 年度	29	71	42	67	67	50	17	25
	2023 年度	23	57	60	53	73	30	27	30
	2024 年度	21	56	48	48	67	48	23	40



- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解（82%）」「2 コミュニケーション力（66%）」が例年並みに高くなった。

- 一方で、「5 専門的な知識と技術 (18%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力(24%)」「1 理論的な思考力(24%)」は、ここ数年、低下傾向にある。



- 教育学部では、「5 専門的な知識と技術 (67%)」が最も高い。
- 「2. コミュニケーション力 (56%)」「3. 物事を多角的・多面的に考える視野 (48%)」「4 教養・知識 (48%)」が、ここ3年間で最も低くなった。
- 一方で、「6 考え方の柔軟性 (48%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力 (40%)」が、ここ3年間で最も高くなった。
- 「7 多文化・異文化理解 (23%)」「1 理論的な思考力 (21%)」が低くなっている。